

地域人材ネット

郡山ブランド野菜事業

藤田 浩志 (ふじた こうし)



略歴

■経歴

- ・明治大学農学部卒業・福島大学大学院経済学研究科修了
- ・元郡山市制施行90周年・合併50年記念事業プロモーション委員・元郡山市教育振興基本計画審議会委員
- ・元郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議委員・元郡山市熱海保育所保護者会長
- ・現一般社団法人日本野菜ソムリエ協会認定野菜ソムリエプロ
- ・現福島県ふくしま食育実践サポーター・現郡山農業青年会議所副会長兼農政委員長
- ・現福島からはじめよう。「ふくしまの今を語る人」県外派遣事業 講師・現郡山ブランド野菜協議会 役員
- ・現うつくしま復興大使・現郡山教育委員会委員

■受賞歴

- ・人間力大賞2012 復興創造特別賞

著書・論文等

2016年 特定課題研究論文 「郡山ブランド野菜事業戦略―震災から見てきた、地域ブランド事業戦略―」

○ 郡山ブランド野菜事業

取組の内容

米の一大産地として知られる郡山。野菜でも郡山ならではのブランドを育てていきたいという想いから、地元生産者たちが自らの野菜の「目利き力」を活かし、数百種類ある野菜の中から、①味わい、②栄養価の高さ、③個性、④郡山の土地に合っていることを見極め、1年に1つずつ「郡山ブランド野菜」を選定しています。栽培方法も研究し、栄養分析でおいしさの数値化も実施。2003年に始まり2017年時点で13品目が揃っています。また、県内や首都圏の消費者やシェフを畑に招いて体験イベントやマルシェも開催。農業と観光が融合した新たな6次産業化も目指しています。この取組を機に、地元では郡山ブランド野菜の栽培に挑戦したいという農家や新規就農者が増加中で、地元行政との連携も進んでいます。震災・原発事故の影響は大きいものですが、現状把握とそれに基づいた行動によって以前よりも洗練されたブランド化が進み、復興庁「新しい東北」先導モデル事業に選定されるなど、困難な状況だからこそ積み上げられたノウハウで福島県農業復興の一翼を担います。



実績

2010年 “御前人参(ごぜんにんじん)が”郡山ブランド認証産品に選定 郡山市の公認ブランドに

2013年 復興庁「新しい東北」先導モデル事業に選定

2015年 フードアクションニッポンアワード2015 食文化・普及啓発部門 優秀賞

震災原発事故後にもかかわらず、新規就農者等が10人弱会員として加入し、地域農業の担い手組織としての立場が確立されています。

また、このブランド野菜事業を通して得たノウハウに基づいての指導・講演経験も豊富です。

(例:道の駅生産者向け講演やアグリアカデミア大阪での新規就農者向け講演など)

工夫した点や苦労した点

農業における伝統や特産品に乏しい地元というマイナス点を逆転の発想で”自ら開拓する創造する”というコンセプトにするなど、現状分析と柔軟な発想が持ち味です。PRが先行し需要があるのに供給体制が整いきらないのが大きな課題です。

ひとことPR

0から特産品と地元食関連産業とのネットワークを創り上げたノウハウがあり、そのノウハウをどの地域でも活用できるようにモデル化・テンプレート化してありますので、ぜひご活用ください。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(農業に関する情報発信)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

郡山ブランド野菜協議会	http://brandvasai.jp/
ふくしまからのメッセージ	http://www.minpo.jp/pub/topics/revival/2012/06/post_5.html
ほぼ日 東北の仕事論	http://www.1101.com/tohoku_shigoto/fujita/index.html

連絡先

メールアドレス	kossyvege[アットマーク]gmail.com	その他	kossyvege (twitter)
---------	--	-----	---------------------

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る